

巻頭言

富山県高等学校教育研究会
情報部会長 林 成佳
(富山県立大門高等学校長)

富山県高等学校教育研究会情報部会の会員各位におかれましては、日頃から本県高等学校情報教育ならびに本部会活動にご尽力をいただいていることに対し、心から感謝を申し上げます。また、本部会の事業に際して富山県教育委員会県立学校課を始め、富山大学大学院教育実践研究科等関係機関からもご指導をいただいていることに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、2022年度4月より新学習指導要領が年次進行でスタートしました。情報化、グローバル化が進展するこれからの時代の流れを踏まえ、教科「情報」につきましては、科目「情報Ⅰ」が共通必修科目となり、「大学入学共通テスト」(以下共通テスト)においても2025年1月実施の共通テストより「情報」が新教科として出題されます。各国公立大学や私立大学では、2025年新課程入試における共通テスト「情報Ⅰ」の導入予定・配点等の情報を各大学のウェブサイトで順次公開しています。また、昨年度には共通テストの試作問題も発表され、「情報Ⅰ」の試作問題の内容は、日常的な事象や社会的な事象と情報との結び付きを重視して作問するという方針通りで、出題者の工夫を感じるものとなっていたようです。知識のみを見る設問は少なく、深い理解をともなっているかを問題文や資料、データをもとに考察させる設問が目立ち、教科書を一通り学習しただけでは回答が難しいのではと分析されていました。共通テスト対策を考えてトレーニングをする時間をしっかり確保することが必要なようです。各校においては、共通テスト対応として3年次における「情報Ⅰ」の共通テスト対策をどうするか、また過去問のない科目のテスト対策では、何をどうすればいいのかといった不安を持ちながらの指導になるかと思えます。今年の2月の2年生対象の外部模試では、「情報Ⅰ」が実施されているので、その問題は大変参考になるかと思えます。是非確認していただき、今後の指導計画や共通テスト対策等を立てていただきたいと思います。

「情報Ⅰ」の授業に関しては、どのように授業を組み立て実践していけば良いのか、また、基本的なアルゴリズムとプログラミングの基本に関する理解をどのように指導していけば良いのかといった不安や疑問を持ちながら、日々教材研究をして授業を進めておられるのではないかと思います。昨年度「情報Ⅰ教育研究会」では、様々な授業実践・研究を行い、授業の実践事例をまとめた「「情報Ⅰ」実践事例集」を富山大学、富山県教委育委員会、富山ICT・DS教育支援事業のご支援ご協力により発刊され、各高校等に配布されました。今年度は、その冊子を用いた授業の実践を行い、実践事例集の内容の見直しや課題例や全体を通じた学習活動の進め方についても記載された「「情報Ⅰ」実践事例集-2024-」も発刊配布され、さらには授業の動画作成等に取り組んでおられます。これも大変期待ができる取り組みで、どのような授業動画ができあがり、それをどのように授業に役立ていけるか、早く動画が見てみたいとワクワクしております。今後の「情報Ⅰ教育研究会」での取り組みにも大いに期待をし、本部会では様々なことを話題にして授業への不安や疑問を少しでも無くし、先生方の指導力の向上と質の高い情報教育が実践できるように取り組んでいきたいと考えております。

また、今年度11月に実施した研究発表大会では、福岡高等学校 西川彩香先生、「情報Ⅰ」教育研究会 福田匡孝先生(桜井高等学校)からご発表いただきました。さらに、高岡高等学校 多賀誠志先生からは「全国高等学校情報教育研究大会」の参加報告があり、後半の講演では、富山大学大学院教職実践開発研究科 教授 黒田卓先生から「高校で教科『情報』を学ぶ意義～大学の視点から～」と題してご講演をいただき、大変有意義な研究発表大会となりました。ご発表・ご講演いただきました先生方に心から感謝を申し上げます。これらの内容は今後の各学校での指導改善に生かすなど、情報教育の一層の充実を図るための糸口になることを期待しております。

終わりに、関係各位におかれましては、本部会の一層の充実、発展のためのご理解、ご協力を引き続きお願い申し上げます。